

みんなの財政のミカタ

令和6年度決算版



令和7年12月 仙台市

Part1.決算解説編では、仙台市の令和6年度決算についてお知らせします。
決算は、1年間の市の収入や支出をまとめたものです。

目次

1. 令和6年度決算額（仙台市全体の決算額は？「3つの財布」ってなに？）	1
2. 歳入（仙台市の1年間の収入はどうなっているの？）	2
3. 歳出（支出の「2つの見方」ってどういうこと？）	3
4. 震災復興への取組み（震災復興にはどれくらいのお金が使われているの？）	5
5. 仙台市の財政状況（仙台市の財政状況ってどうなの？）	6
6. 財政見通しと行財政改革（これからの仙台市財政はどうなるの？）	10
※ コラム：令和6年度決算を家計に例えると？	12

Part2. 資料編

1. 令和6年度特別会計・企業会計決算の状況	
（1）収支の状況	15
（2）令和6年度に行った主な事業	16
2. 令和7年度上半期の財政状況（令和7年9月30日現在）	
（1）予算の執行状況（一般会計・特別会計・企業会計）	21
（2）市債、市有財産、基金などの状況	23

1. 令和6年度決算額

仙台市全体の決算額は？「3つの財布」ってなに？

令和6年度の1年間に、仙台市全体でどれほどのお金が使われたのか見てみましょう。

令和6年度 歳出（支出）決算額	
総 額	1 兆 1,706 億 7,887 万円
一 般 会 計	6,190 億 3,740 万円
特 別 会 計	3,154 億 9,932 万円
企 業 会 計	2,361 億 4,215 万円

「会計」とは、家庭における「お財布」にあたるものです。収入をどの事業に使っているのかを分かりやすくするために、お財布（会計）を一般会計・特別会計・企業会計の3つに分けています。

それぞれの会計の特徴は？

一 般 会 計

福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行う会計です。収入は、市税や地方交付税等によって賄われます。

特 別 会 計

特定の事業を特定の収入によって実施するための会計です。保険料など特定の収入があるため、一般会計とは区別する必要があります。仙台市には、国民健康保険事業や介護保険事業など、9会計があります。

企 業 会 計

地方公共団体が直接経営する、地方公営企業の会計です。それぞれ利用者の方々が支払う料金等の収入で事業を行います。仙台市には、下水道・バス・地下鉄・水道・ガス・病院の6会計があります。

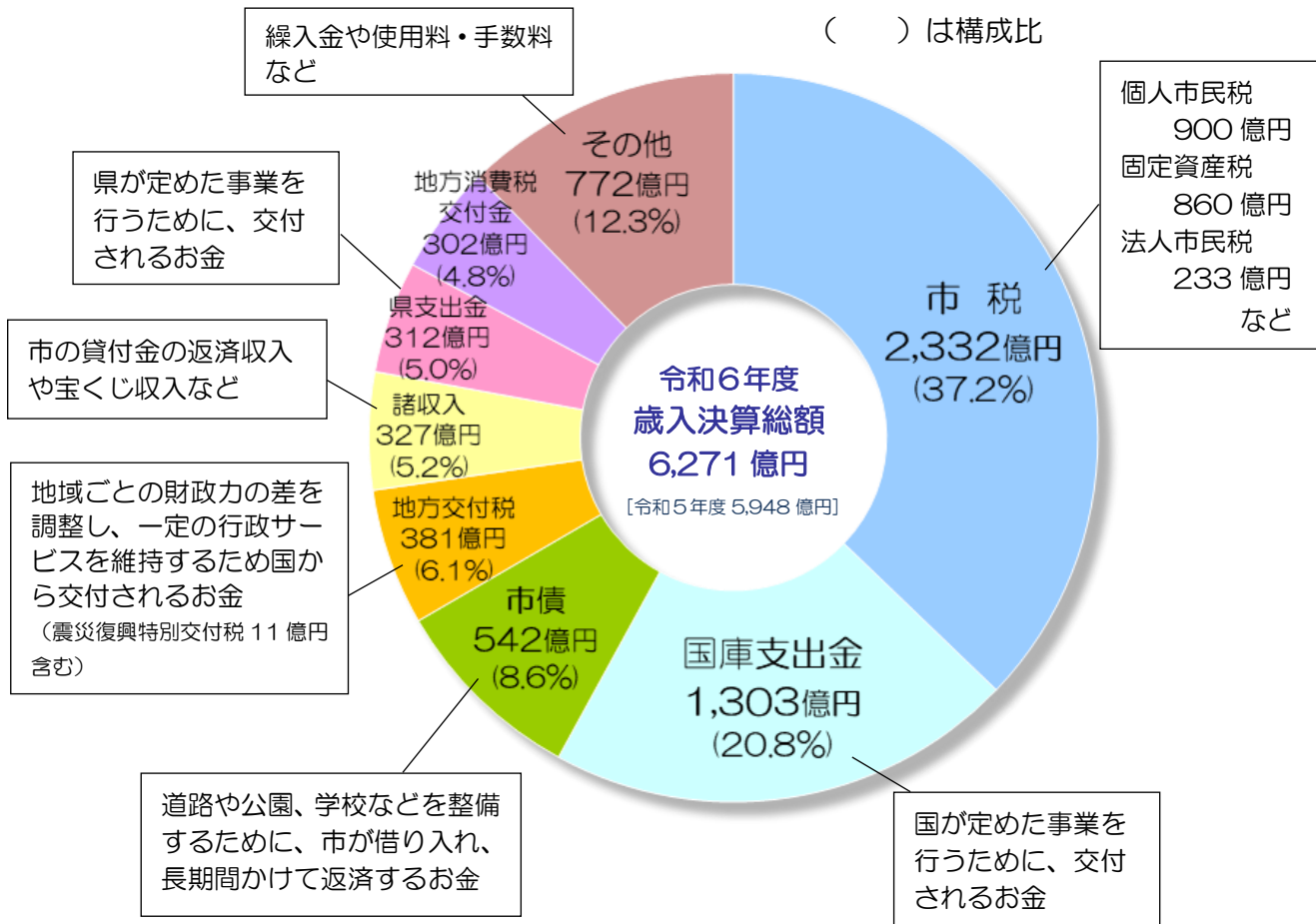
「みんなの財政のミカタ」では、次のページから主に「一般会計」について説明をしていきます。特別会計・企業会計の決算については、「Part.2 資料編」をご覧ください。

2. 歳入

仙台市の1年間の収入はどうなっているの？

仙台市の1年間の収入である歳入について説明します。

令和6年度の歳入決算額は前年度から323億円増加し、6,271億円となりました。



令和6年度決算の特徴は？

市税

土地の評価替えや家屋の新增築等による固定資産税・都市計画税の増加などにより、前年度から39億円増加しています。[R5年度 2,293 億円]

国庫支出金

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増加などにより、前年度から17億円増加しています。[R5年度 1,286 億円]

地方交付税

普通交付税の増加などにより、前年度から64億円増加しています。[R5年度 317 億円]

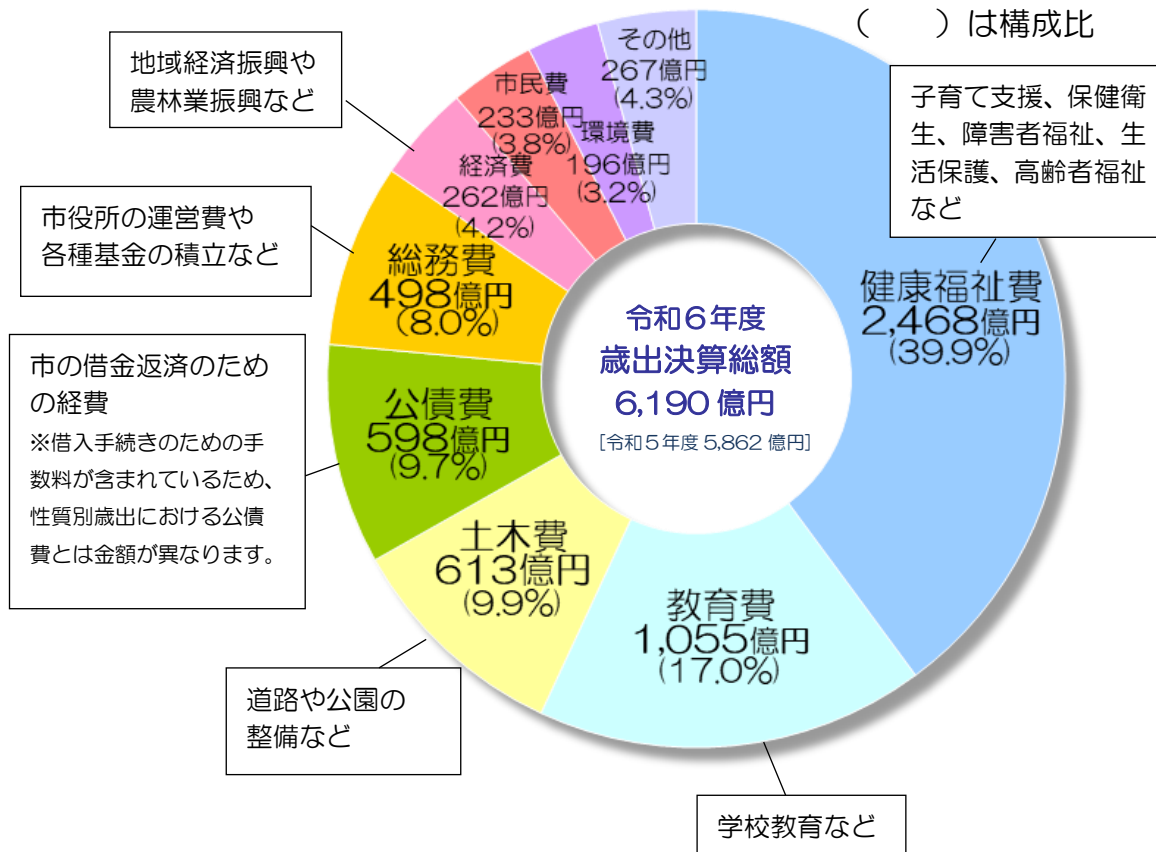
3. 歳 出

支出の「2つの見方」ってどういうこと？

令和6年度の歳出決算額は前年度から328億円増加し、6,190億円となりました。

歳出は、福祉、教育など行政サービスの目的で分類した「**目的別歳出**」と、人件費、扶助費など、経費の性質で分類した「**性質別歳出**」の、「2つの見方」をすることができます。

目的別歳出



令和6年度決算の特徴は？

健康福祉費

施設型給付費や衛生研究所施設整備費の増加などにより、前年度から38億円増加しています。[R5年度 2,430 億円]

教育費

小・中学校校舎の新增改築費の増加などにより、前年度から94億円増加しています。[R5年度 961 億円]

総務費

定額減税補足給付金や市庁舎整備基金の造成積立金の増加などにより、前年度から84億円増加しています。[R5年度 414 億円]

主な事業は？

健康福祉費

生活保護 330 億円、介護給付・訓練等給付 246 億円

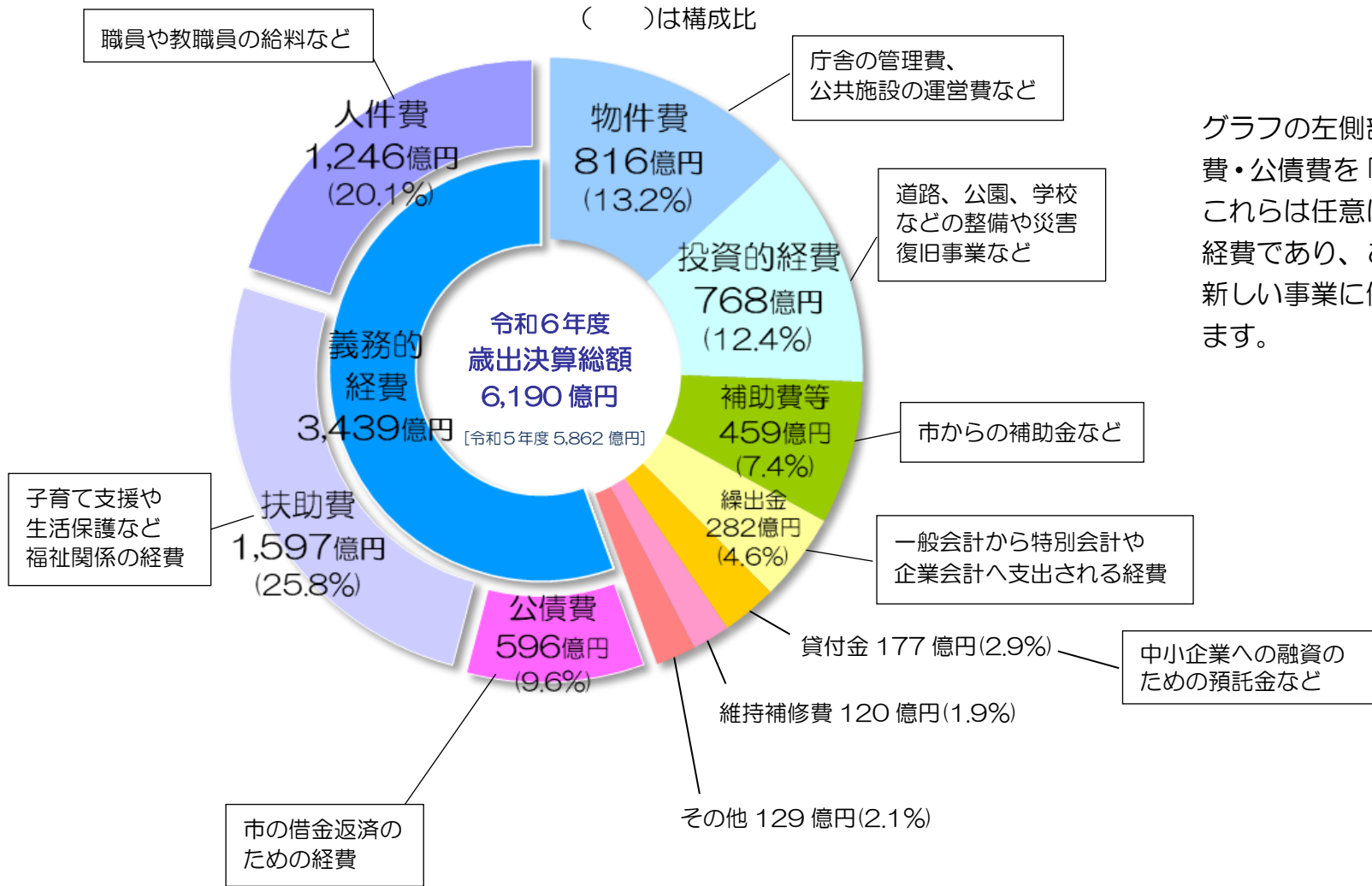
教育費

学校建設 100 億円、学校維持修繕 54 億円

土木費

道路維持 105 億円、道路新設改良 72 億円

性質別歳出



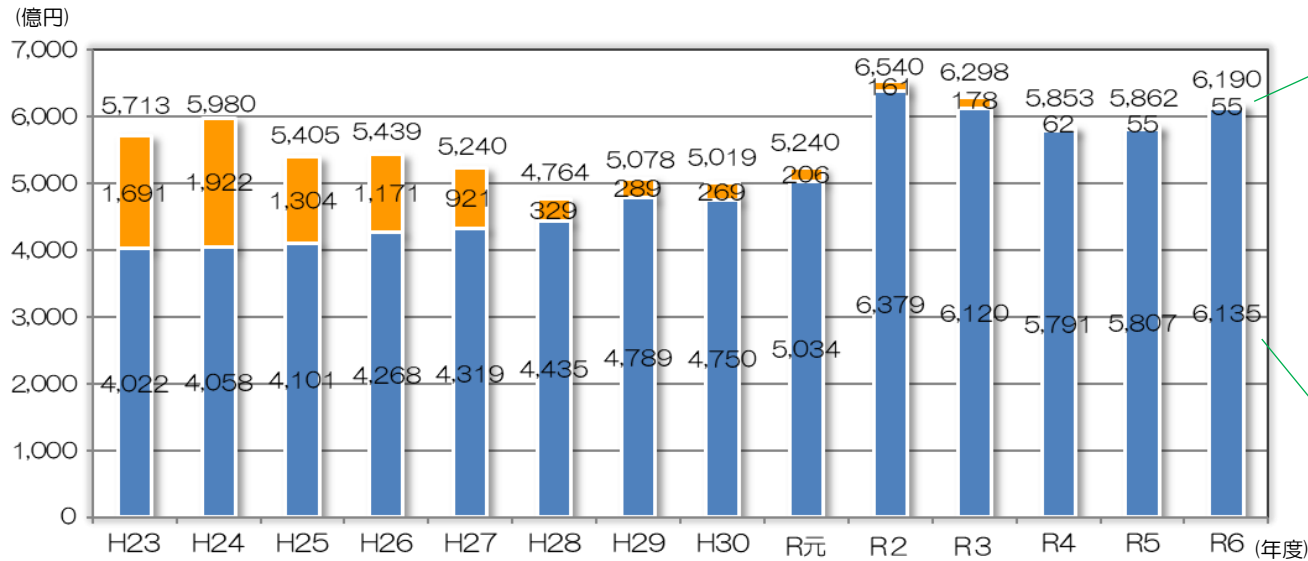
グラフの左側部分にあたる人件費・扶助費・公債費を「義務的経費」といいます。これらは任意に削減することが難しい経費であり、この割合が大きくなると、新しい事業に使える経費が少なくなります。

4. 震災復興への取組み

震災復興にはどれくらいのお金が使われているの？

続いて、東日本大震災からの復旧・復興に使われた事業費の推移を見ていきましょう。

一般会計歳出に占める震災関連事業費



震災関連

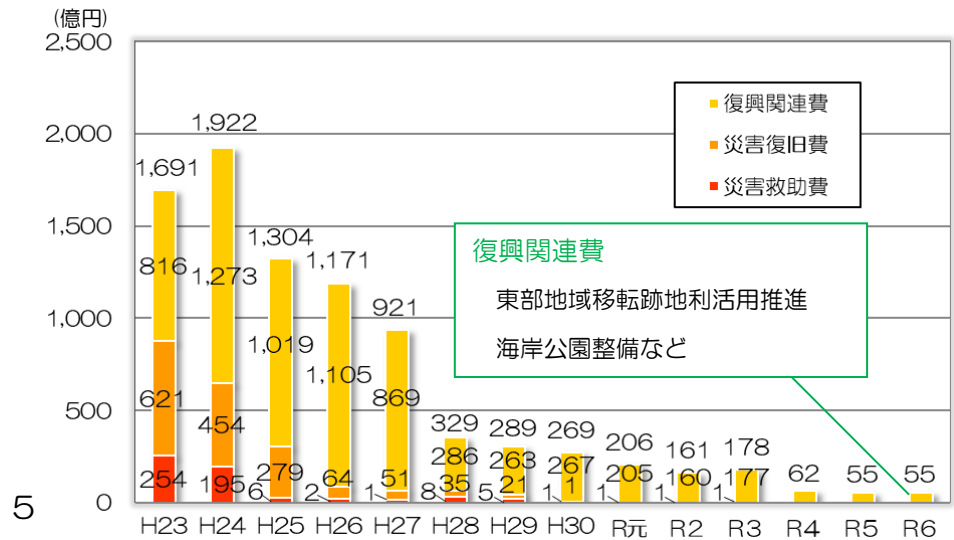
令和6年度決算における震災関連の事業費は55億円となりました。

復旧・復興事業の進捗に伴い、一般会計歳出に占める震災関連事業費は近年縮小傾向にあります。

震災関連以外

震災関連事業費の内訳は？

震災関連事業費の内訳を見てみると、災害復旧費や災害救助費の計上が終了したことに加え、復興関連費が事業の進捗に伴い徐々に減少してきていることが分かります。



復興関連費

東部地域移転跡地利活用推進
海岸公園整備など

5. 仙台市の財政状況

仙台市の財政状況ってどうなの？

ここまでは、一般会計の決算額について見てきました。

しかし、これだけでは仙台市の財政が健全かどうかを判断することができません。

ここからは、財政状況を判断する手がかりとなる、財政指標や市債残高を見ていきましょう。

健全化判断比率

「健全化判断比率」は、地方自治体の財政運営がどのような状況にあるのかを把握し、早い段階で健全化へ向けた取組みが必要かを判断するための指標です。

いずれかの指標で一定の基準を超えた場合、財政健全化のために計画をつくることなどが義務付けられます。

指 標	解 説	令和6年度 決算	早期健全化 基準 ※2	財政再生 基準 ※3
実質赤字比率	$\frac{\text{一般会計等※1の赤字}}{\text{財政規模}}$	— (—)	11.25%	20%
連結実質赤字比率	$\frac{\text{すべての会計の赤字}}{\text{財政規模}}$	— (—)	16.25%	30%
実質公債費比率	$\frac{\text{1年間の借金返済費用}}{\text{財政規模}}$	4.9% (6.1%)	25%	35%
将来負担比率	$\frac{\text{将来負担する可能性のある負債}}{\text{財政規模}}$	44.6% (52.3%)	400%	

令和6年度決算に基づく仙台市の健全化判断比率は、いずれも国の定める早期健全化基準を下回っており、これらの指標は適正な水準にあります。

表中の「—」は、赤字が生じていないことを示す。()は令和5年度決算の値。

※1 一般会計等とは、一般会計と一部の特別会計(都市改造事業・公共用地先行取得事業・公債管理・母子父子寡婦福祉資金貸付事業・新墓園事業)を合わせたもの。

※2 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

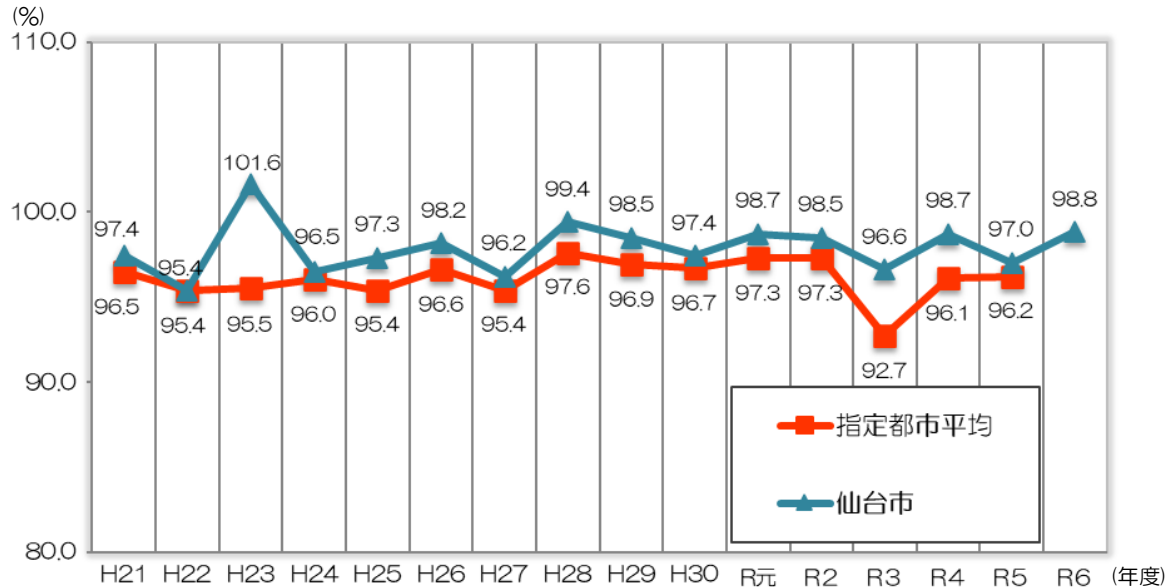
※3 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。

経常収支比率の推移（普通会計※決算ベース）

「経常収支比率」とは、財政構造の弾力性を表す指標です。

市税など毎年の経常的な収入である一般財源が、扶助費など毎年固定的に支出しなければならない経常的な経費に、どの程度充当されているかで算出されています。

この比率が高いほど、政策的な経費に回す財源が少ないことを表します。



令和6年度決算に基づく仙台市の経常収支比率は、98.8 パーセントとなっています。

人件費や扶助費の増加などにより、近年高い水準で推移しており、財政構造が硬直化している状況にあることを示しています。

※普通会計ってなに？

仙台市には一般会計・特別会計・企業会計の3種類の会計があります。

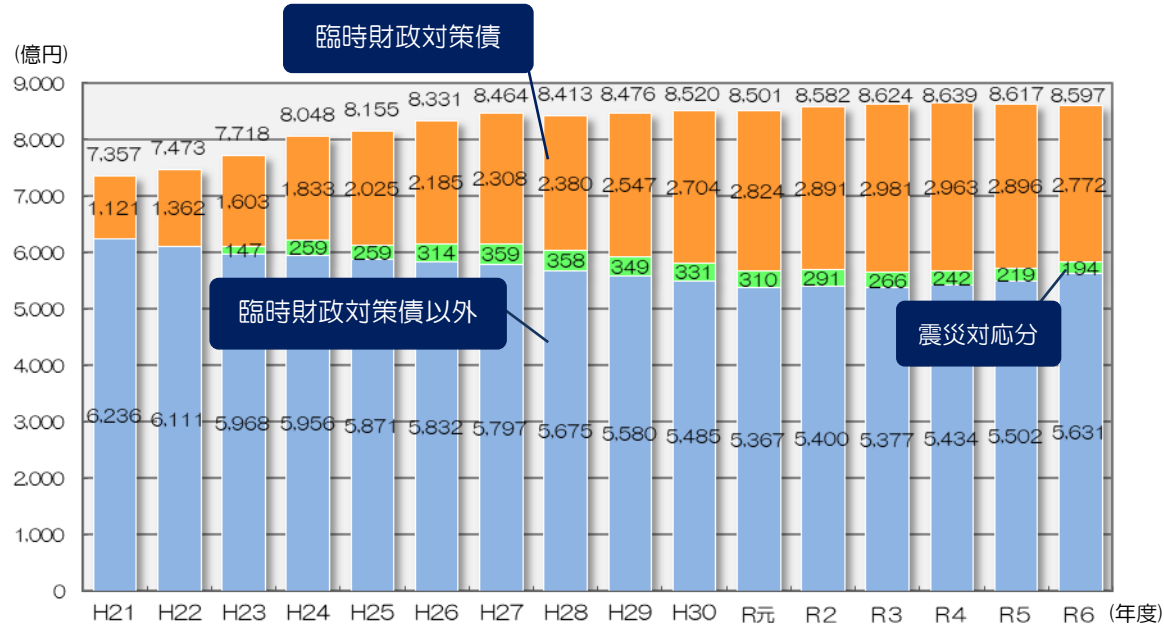
しかし、仙台市の一般会計の内容が、他都市と同じとは限らずそのままでは比較ができません。

そこで、国が「普通会計」という統一の考え方を定めており、地方公共団体は「普通会計」に沿って算出した値によって互いの財政状況を比較します。

仙台市の「普通会計」には、一般会計（一部を除く）・特別会計の一部（都市改造事業特別会計の一部、公共用地先行取得事業特別会計、公債管理特別会計の一部、母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計及び新墓園事業特別会計）が含まれます。

市債

「市債」とは、市の借金のことです。ここでは市債残高の推移に着目してみましょう。



令和6年度決算における一般会計の市債残高は8,597億円となり、前年度の決算時点から20億円減少しました。

「臨時財政対策債」※の残高が減少した一方で、それ以外の市債残高については、衛生研究所施設整備債が増加したことなどの影響により増加しました。

臨時財政対策債以外の残高について、これまで公共投資の重点化の取組みなどにより、適切な管理に努めてきたところです。

今後は、大規模事業や公共施設の長寿命化対策と連動する形で市債発行額及び市債残高が一時的に増加する見通しですが、その後は緩やかに減少していく見通しです。

※「臨時財政対策債」って何？

国から本来交付されるべき地方交付税の原資となる国税収入が不足していることから、その不足を埋める対策の一つとして、地方が発行する特別な市債です。仙台市では、臨時財政対策債の配分割合が大きく、市債残高に占める割合も3割を超えています。この市債の返済に必要な額は、全額が後年度に地方交付税として手当てされます。

そもそもどうして市債を発行するの？

市債は主に、道路や学校など、将来にわたって長く利用される施設の建設費、整備費用に充てられています。市債を発行して返済を後の年度にも分けて行うことで、施設を利用する将来の世代の方にも、建設費用を公平に負担していただくことができます。

基金

「基金」とは、家計の貯金にあたるものです。

年度間で予算の財源の調整を行う「財政調整基金」のほか、特定の目的のために積み立てている基金などがあります。

令和6年度末での基金残高

一般会計 2,367 億円		特別会計 265 億円
・ 財政調整基金	241 億円	国民健康保険や介護保険の 財源調整を行う基金など
・ 市債管理基金	1,297 億円	
・ 高速鉄道建設基金	498 億円	
・ 市庁舎整備基金	141 億円	
・ 公共施設保全整備基金	93 億円	
・ 震災復興基金	36 億円 など	※企業会計には、基金がありません

それぞれの基金ってどんなもの？

市債管理基金

市債の返済に必要な資金を計画的に積み立てている基金

高速鉄道建設基金

地下鉄建設等のために発行した市債の返済などに備えて積み立てている基金

市庁舎整備基金

本庁舎建替など市庁舎の整備を図るために積み立てている基金

公共施設保全整備基金

公共施設の長寿命化の推進や計画的な更新を図るために積み立てている基金

震災復興基金

東日本大震災からの復興に関する事業の推進を図るために積み立てている基金

6. 財政見通しと行財政改革

これからの仙台市財政はどうなるの？

今後の財政見通し

歳入

市税収入は増加基調で推移し、主要一般財源全体としても概ね堅調に推移する見通しです。

主な歳入

市税	地域経済の今後の動向は不透明であるものの、内閣府の経済見通しを考慮すると、増加基調で推移
地方交付税	普通交付税は、市税収入などの推移と連動して減少
市債	公共施設の老朽化対応を含む普通建設事業の進捗などと連動して推移

歳出

本格的な少子高齢社会の到来などによる社会保障関係費や公共施設の長寿命化対策にかかる経費などの増加も見込まれ、義務的経費は増加し続ける見通しです。

主な歳出

人件費	職員の定年の段階的引き上げにより、期間中は定年退職が2年に1度生じ、年度間の変動は生じるが、概ね増加傾向
扶助費	生活保護費や、高齢化の更なる進行などにより社会保障関係費の増加が継続
公債費	臨時財政対策債の償還や震災以前の普通建設事業の抑制傾向、大規模事業の進捗などの要素と連動して推移
投資的経費	公共施設の長寿命化対策や更新を計画的に進めることに加え、大規模事業の実施により増加

収支差

歳出の伸びが歳入の伸びを上回る状況が続く見通しであり、令和8年度から17年度までの各年度の予算編成における収支差は、年々拡大し235億円から521億円程度となる見通しです。

大規模事業の見通しと財政運営への影響

音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設整備や本庁舎建替えといった大規模事業は、市民サービスの向上につながることはもとより、仙台市の魅力や新たな活力の創出、市民福祉の向上に向けたまちづくりへの投資であり、厳選重点化等を図りながら着実に進めていくことが必要です。

今後はこうした大規模事業が本格化しますが、事業費の圧縮や年度間の平準化、国からの財政支援や基金の活用などにより、仙台市の財政負担は平準化される見込みです。また、公共施設の長寿命化対策や大規模事業等により市債残高も増加していく見込みとなりますが、残高のピーク時においても実質公債費比率は国の基準を十分下回る水準となる見込みであり、また、その後は残高も緩やかに減少していく見通しです。引き続き、こうした取組を徹底することで、市民サービスの維持向上と将来のまちづくりに向けた投資の両立を図っていきます。

今後の財政運営の方向性

厳しい状況が続く中であっても、仙台市が持続的な発展を遂げていくためには、子育て環境の充実やダイバーシティの推進、大規模事業をはじめとする市の魅力と活力を高める各般の施策について、厳選重点化等を図りながら計画的に進めていく必要があります。

そのため、地域経済の活性化や成長促進による税収の増加を目指すとともに、外部資金の積極的な獲得、事務事業の見直しや予算の厳選重点化、DXやBPRの推進等による業務効率化の徹底に取り組むなど、歳入歳出両面におけるあらゆる方策を講じ、将来にわたり持続可能な財政運営につなげていきます。

行財政改革の取組み

多様化する市の課題に対応し、将来にわたり市民の皆様に行行政サービスを提供していくためには、しっかりとした行財政運営基盤が必要です。そのため、仙台市では、平成7年度以降、行財政改革を推進する計画を継続的に策定し、効率的な運営に取り組んでおり、令和4年3月には、「仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）」を策定しました。

「仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）」の取組みの一部を紹介します。

- ・市税や保険料などの収納率の向上
- ・市有地等市有財産の処分と有効活用の推進
- ・受益と負担の適正化
- ・公共施設総合マネジメントの推進
- ・市有建築物の長寿命化などの取組みの推進
- ・施設等のあり方の検討



令和4年度から令和8年度の5年間の取組みの効果として、約122億円を見込んでおり、適宜、新しい取組みを追加していきます。

コラム：令和6年度決算を家計に例えると？

仙台市と家庭では、金額やお金の使い道に大きな違いがあるため、単純に比較はできませんが、令和6年度の一般会計の決算を1年間の支出が400万円（1か月あたり33万3千円）の家計に例えてみました。

仙台市の1カ月の家計簿

収入

・給料	25万9千円
基本給(市税)	12万4千円
諸手当(地方交付税、国県支出金など)	13万5千円
・パート収入	
(使用料・手数料、財産収入など)	3万4千円
・金融機関からの借金(市債)	2万9千円
・貯金の取り崩し(繰入金)	1万1千円

合 計 33万3千円



支出

・食費(人件費)	6万7千円
・医療費(扶助費)	8万6千円
・住宅ローンの返済(公債費)	3万2千円
・光熱水費、日用品費	
(物件費)	4万4千円
・家電の買替え、家の修繕	
(投資的経費・維持補修費)	4万8千円
・子どもへの仕送り	
(補助費等・繰出金など)	5万1千円
・将来に備えた貯蓄(積立金)	5千円

合 計 33万3千円

収入

給料でのやりくりに努めていますが、それだけでは全ての支出を賄うことができない状況です。不足額を補うため、金融機関からの借金や貯金の取り崩しを行っています。

支出

全ての支出のなかで、医療費の占める割合が最も高くなっています。また、食費、医療費、住宅ローンの返済といった必ずかかる費用が全体の約55%を占めています。

[交通局からのお知らせ]

\ お出かけには**市バス・地下鉄**をご利用ください /

仙台市内の移動には、目的地のすぐ近くまで行ける**市バス**が便利！

地下鉄は、天候や渋滞の影響が少なく、所要時間がほぼ正確なので、

お出かけの計画も立てやすい！お得な運賃制度も色々ご用意していますので、

お出かけには市バス・地下鉄をぜひご利用ください。

市バスと地下鉄を上手に乗りこなして移動は “お得に” “時短で”

市バス・地下鉄のお得な運賃制度

○均一運賃制度

- ・地下鉄 210 円均一
- ・東西線結節駅周辺バス 100 円均一
- ・市中心部の一定区域内バス 120 円均一

○休日のお出かけなどに便利な一日乗車券

- ・市バス一日乗車券
- ・地下鉄一日乗車券
- ・るーぶる仙台・地下鉄共通一日乗車券

○購入した路線すべての駅・停留所で乗り降り自由の通学定期券

- ・学都仙台フリーパス



↑市バス



↑地下鉄

お乗りの際は

イクスカ
「icsca」をどうぞ



IC チップが埋め込まれたカード乗車券。事前に入金(チャージ)しておけば、地下鉄の改札機またはバスの運賃箱にタッチするだけで運賃が支払えます。

お得なクーポン付き「120 円パッ区一日乗車券」 仙台 MaaS(マース)で販売中！

対象のバス停にはロゴマーク



市中心部の市バス・宮城交通バスが
120 円均一で乗車できる「120 円パッ区」。
その区域内が **300 円** で **1 日乗り放題**
となるお得な乗車券を、仙台 MaaS のウェブ
サイト限定で発売しています！

SENDAI

仙台 MaaS

仙台的移動をもっと自由に、
スマートにするための「仙台 MaaS」



○経路・運賃・時刻表は



せんだい市バス・地下鉄ナビ



○バスの接近情報は

バスの接近情報をネットでお知らせ



○仙台名所巡りには

LOOPLE SENDAI

るーぶる仙台



 **仙台市交通局**
Transportation Bureau City of Sendai

交通局案内センター 022(222)2256

月～金／8:30～18:30、

土・日・祝・12月29日～1月3日／8:30～17:00

【交通局 SNS】

- 公式 X @sendaishi_kotu
- 公式 PR アカウント @sendai_kotu_pr
- 公式 instagram @ sendaishi_kotu

公式ウェブサイト



お金から見る仙台のすがた

Part2. 資料編

Part2.資料編では、地方自治法第243条の3及び地方公営企業法第40条の2の規定のほか、各法に関連する市の条例の規定に基づき、財政状況等を公表します。

仙台市の財政状況についてさらに詳しく知りたい方は、仙台市のホームページをご覧ください。

仙台市の財政

検索



1. 令和6年度特別会計・企業会計決算の状況

(1) 収支の状況

① 特別会計

(単位：千円)

	歳入決算	歳出決算	歳入歳出 差引	翌年度 繰越財源	実質収支
都市改造事業	802,489	802,489	0	0	0
国民健康保険事業	91,503,854	91,217,880	285,974	0	285,974
中央卸売市場事業	3,319,254	3,318,945	309	309	0
公共用地先行取得事業	808,363	808,363	0	0	0
公債管理	116,226,951	116,226,951	0	0	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	281,834	228,788	53,046	0	53,046
新墓園事業	712,502	676,207	36,295	0	36,295
介護保険事業	87,824,578	86,407,927	1,416,651	0	1,416,651
後期高齢者医療事業	15,902,850	15,811,776	91,074	0	91,074
合 計	317,382,675	315,499,326	1,883,349	309	1,883,040

② 企業会計

(単位：千円、消費税込み)

	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
下水道事業	35,668,347	32,949,102	2,719,245	23,293,522	34,213,249	△ 10,919,727
自動車運送事業	9,765,991	10,704,046	△ 938,055	2,252,942	3,157,466	△ 904,524
高速鉄道事業	23,068,859	23,118,093	△ 49,234	8,017,523	14,732,732	△ 6,715,209
水道事業	30,362,434	24,779,315	5,583,119	6,064,157	19,768,642	△ 13,704,485
ガス事業	45,653,949	41,889,642	3,764,307	170,601	6,958,587	△ 6,787,986
病院事業	19,598,472	21,383,976	△ 1,785,504	1,838,492	2,487,299	△ 648,807
合 計	164,118,052	154,824,174	9,293,878	41,637,237	81,317,975	△ 39,680,738

※ 収益的収支とは、公営企業の経営活動により発生した収益と費用のことです。資本的収支とは、公営企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費等とその財源となる収入のことです。

※ 表示単位未満を端数調整しているため、差引や合計が一致しない場合があります。上の決算で支出が収入を上回っている部分は、企業が活動していく上で蓄えられた内部留保資金などで対応しています。

（２）令和６年度に行った主な事業

① 特別会計

都市改造事業特別会計（仙台市が施行した土地区画整理事業の会計）

- ・仙台市が施行した４地区（仙台駅東第二地区、荒井地区、富沢駅周辺地区、蒲生北部被災市街地復興地区）の清算金徴収事務を行いました。

国民健康保険事業特別会計（自営業者の方などが加入している国民健康保険の会計）

- ・国民健康保険の安定化を図るため、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに国民健康保険事業を運営しています。
- ・被保険者の医療費等に614億円を支出しており、財源については県からの交付金等により賄われています。
- ・医療費水準や所得額等に応じて負担する県への国民健康保険事業費納付金に259億円を支出しました。

中央卸売市場事業特別会計（水産物、青果物、花き及び食肉を取り扱う市場の会計）

- ・本場では、市場再整備基本計画策定を進め、また、高圧受変電設備更新工事を行いました。
- ・食肉市場では、と畜場等耐震補強及び一部解体工事や冷凍機設備改修工事、食肉市場安定化に係る補助金事業を行いました。

公共用地先行取得事業特別会計（事業を計画的に行うために、計画決定された道路用地などをあらかじめ取得するための会計）

- ・一般会計による先行取得用地の引取はありませんでした。

公債管理特別会計（仙台市の借入金である市債の元金や利子などの支払を行うための会計）

- ・一般会計と特別会計の公債費を一括して経理するために設置しています。
- ・元利金の支払が870億円、新規記録・引受手数料などの諸費用が2億円、市債管理基金への積立が290億円でした。

母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計（母子・父子世帯や寡婦の方に対する福祉資金貸付の会計）

- ・貸付実績は、母子福祉資金83件2,593万円、父子福祉資金10件191万円、寡婦福祉資金1件130万円でした。
- ・令和6年度末の貸付残高は、母子福祉資金3億4,803万円、父子福祉資金510万円、寡婦福祉資金191万円でした。

新墓園事業特別会計（長期的、安定的に市民の墓地を確保するため、新たな墓園を整備し、運営管理を行うための会計）

- ・仙台市いずみ墓園の運営管理を行いました。
- ・新規貸出募集は、春と秋に2回実施し、貸出数は、一般墓所47基、芝生墓所103基、個別集合墓所は158基で、合計308基、合葬式墓所は610体分でした。

介護保険事業特別会計（65歳以上の方と、40歳以上65歳未満で特定の病気により介護が必要と認められた方を対象に介護サービスを行う介護保険制度の会計）

- ・介護を必要とする方が、居宅や特別養護老人ホームなどの施設で受けた各種の介護サービスに要した保険給付額は、792億円でした。
- ・介護予防や認知症総合支援事業などの地域支援事業費は36億円でした。
- ・要介護等の認定を受けている方は、5万3,392人となりました。

後期高齢者医療事業特別会計（75歳以上の方と、65歳以上75歳未満で一定の障害のある方が加入している後期高齢者医療制度の運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合へ支払う保険料などを管理する会計）

- ・市内の被保険者に保険料として129億円をご負担いただき、宮城県後期高齢者医療広域連合へ納付金として支出しました。
- ・所得の少ない方の保険料負担を軽減するために23億円を支出しました。

② 企業会計

下水道事業会計（下水道事業の会計）

- ・浸水対策事業としては、仙台駅西口地区浸水被害軽減対策のための広瀬川第3雨水幹線工事を実施するとともに、西原雨水ポンプ場のポンプ増設に係る建設工事を実施しました。
- ・地震対策事業としては、第3南蒲生幹線の供用を開始したほか、昭和町地区合流管等の耐震化工事を実施しました。
- ・老朽化対策事業としては、合流地区における管きよの改築工事を実施しました。

令和6年度普及状況

- | | |
|-------------|------------|
| ・行政区域内人口（A） | 106万8人 |
| ・処理区域内人口（B） | 105万7,737人 |
| ・人口普及率（B/A） | 99.8% |
| ・処理区域面積 | 1万7,734ha |



©2010「ゴールデンランバー」製作委員会

自動車運送事業会計（バス事業の会計）

- ・安全運行の確保の取組みとして、経験年数の短い乗務員に対する添乗指導や、実際のドライブレコーダーの映像を活用した注意喚起、警察等外部講師による研修を実施するなど、更なる安全意識の向上に努めました。
- ・施設設備の計画的な維持更新の取組みとして、老朽化した川内営業所の建て替えを進めるとともに、安定的な稼働維持を目的としたIC乗車券バスシステム車載機の更新を実施しました。
- ・利用しやすい環境整備の取組みとして、バス待ち環境の向上のため、バス停留所上屋や接近表示器等の設置を継続して行ったほか、バス車両のLED行先表示器について、より視認性に優れた白色LEDへの更新を継続して行いました。
- ・公共交通の利用促進の取組みとして、家族連れの利用喚起等を目的とした小児運賃無料化の実証実験を実施したほか、新たな学生フリーパス制度の導入に伴うシステム改修を行いました。

令和6年度運行状況

- | | |
|---------|--|
| ・営業路線延長 | 565.13km |
| ・乗車人員 | 延べ3,453万20人 ※乗車人員は、前年度に比べ1.7%の増となりました。 |



高速鉄道事業会計（地下鉄事業の会計）

- ・安全性向上のため、南北線において、老朽化した電力管理システム等の更新を実施しました。
- ・危機・自然災害への対応のため、大地震の発生を想定した防災訓練や、弾道ミサイルの飛来を想定した避難訓練を実施しました。
- ・利用しやすい環境整備のため、前年度に引き続きホームと車両の間隙縮小事業を進めたほか、新紙幣に対応するため、駅構内にある券売機及び精算機の更新を進めました。
- ・令和6年10月に南北線新型車両の1編成目の営業運転を開始しました。
- ・公共交通の利用促進に向けて、家族連れの利用喚起等を目的とした小児運賃無料化の実証実験を実施したほか、「東北絆まつり2024 仙台」等の大型イベントの開催に合わせ、「仙台 MaaS」にて地下鉄両線を低廉に利用できる地下鉄24時間券・36時間券を販売しました。

令和6年度運行状況（南北線・東西線）

- ・営業路線延長 28.7km
- ・乗車人員 延べ9,323万2,751人 ※乗車人員は、前年度に比べ3.4%の増となりました。



水道事業会計（上水道事業の会計）

- ・漏水発生リスクや地震等の災害発生時の被害を抑えるため、老朽化した管路の更新及び耐震化を進めました。
- ・大規模災害等により断水が発生した場合に応急給水を円滑に実施できるよう、指定避難所への災害時給水栓設置を拡充し、災害時における給水体制を強化しました。
- ・アセットマネジメント手法による水道施設の適切な維持管理・更新に努め、ライフサイクルコストの縮減に取り組みました。
- ・民間企業と連携した「青下の杜プロジェクト」での水源涵養林の保全や、「青下の杜フェスティバル2024」を開催するなど、開かれた経営の実現に向けた取り組みを進めました。

令和6年度配水状況

- ・給水人口 106万363人
- ・人口普及率 99.8%
- ・配水量 1億1,952万³m ※配水量は、前年度に比べ0.2%の減となりました。



仙台市水道局キャラクター ウォッターくん

ガス事業会計（ガス事業の会計）

- ・一層の安全性向上のため、継続的に経年本支管の入替えに取り組むとともに、都市ガスの製造・供給にかかる各種設備やシステムの更新などを推進しました。
- ・お客さまの業種業態等を踏まえた営業を展開し、機器更新等の時機を捉え、最適な提案に取り組むなど、新規需要の獲得と他燃料からの燃料転換に努めました。

令和6年度供給状況

- ・需要家戸数 34万6,787戸
 - ・供給区域内の都市ガス普及率 58.1%
 - ・ガス販売量 2億8,957万 m^3
- ※販売量は、前年度に比べ1.6%の減となりました。



仙台市ガス局キャラクター ガスクじら

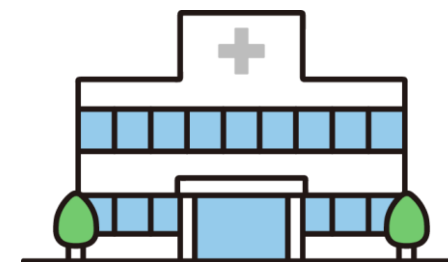
病院事業会計（市立病院事業の会計）

- ・仙台医療圏の中核病院として、複雑多様化する医療ニーズに的確に対応するとともに、高度な医療機器と診療機能を発揮して、市民の「健康の増進」と「福祉の向上」に努めました。
- ・救命救急医療、小児救急医療、身体合併症精神科救急医療、周産期医療をはじめとする自治体病院の使命である政策的医療の提供に注力しました。
- ・複雑多様化する医療ニーズに的確に対応するため、費用負担の平準化を図りながら、高額医療機器の計画的な更新を進めました。

令和6年度患者数

- ・外来 延べ22万7,925人
- ・入院 延べ14万5,307人

※患者数は、前年度と比べると、外来は0.2%の増、入院は1.7%の減となりました。



2. 令和7年度上半期の財政状況（令和7年9月30日現在）

ここからは、令和7年度予算の執行状況や財産の状況などについてお知らせします。

（1）予算の執行状況

① 一般会計

令和7年度の予算現額(令和7年度当初予算に令和6年度繰越額及び令和7年6月補正までを反映させた予算額)は約 7,121 億円です。
予算の執行率は歳入が 34.1%、歳出が 32.8%です。

歳入予算の項目執行状況

（単位：千円）

	予算現額	収入済額	収入済率
市 税	245,186,000	127,218,924	51.9%
国庫支出金	131,847,738	36,289,299	27.5%
市 債	94,299,500	6,000,000	6.4%
繰入金	50,918,975	0	0.0%
諸収入	38,305,123	4,025,064	10.5%
県支出金	36,163,584	3,109,410	8.6%
その他	115,342,784	66,158,802	57.4%
合 計	712,063,704	242,801,499	34.1%

※ 収入済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

歳出予算の項目執行状況

（単位：千円）

	予算現額	支出済額	支出済率
健康福祉費	261,499,507	101,866,363	39.0%
教 育 費	129,078,110	46,698,300	36.2%
公 債 費	59,449,115	0	0.0%
土 木 費	77,543,757	18,070,733	23.3%
総 務 費	68,739,560	16,116,856	23.4%
経 済 費	31,318,629	20,500,592	65.5%
そ の 他	84,435,026	30,053,427	35.6%
合 計	712,063,704	233,306,271	32.8%

※ 支出済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

※ 公債費の支出済率が0%となっているのは、市債の元利償還や利子の支払いを一括管理している公債管理特別会計への精算処理を出納整理期間中に行うためです。

② 特別会計

令和7年度上半期予算執行状況

(単位：千円)

会 計 名	予算現額	収入済額	収入済率	支出済額	支出済率
都市改造事業	834,105	1,474	0.2%	0	0.0%
国民健康保険事業	89,644,325	33,883,946	37.8%	37,428,875	41.8%
中央卸売市場事業	4,761,586	808,760	17.0%	853,542	17.9%
公共用地先行取得事業	646,818	25,892	4.0%	316,723	49.0%
公債管理	129,298,904	25,000,000	19.3%	50,528,287	39.1%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	84,736	79,493	93.8%	10,651	12.6%
新墓園事業	872,048	151,458	17.4%	112,465	12.9%
介護保険事業	88,839,394	37,235,937	41.9%	37,106,281	41.8%
後期高齢者医療事業	16,757,933	5,853,899	34.9%	5,653,872	33.7%
合 計	331,739,849	103,040,859	31.1%	132,010,696	39.8%

※収入済率及び支出済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

③ 企業会計

令和7年度上半期予算執行状況

(単位：千円)

会 計 名		収益的収支			資本的収支		
		予算現額	執行済額	執行率	予算現額	執行済額	執行率
下水道事業	収入	36,238,147	9,082,523	25.1%	30,011,972	6,064,647	20.2%
	支出	35,302,519	4,053,696	11.5%	42,159,139	11,536,463	27.4%
自動車運送事業	収入	10,119,426	6,094,503	60.2%	2,093,728	399,000	19.1%
	支出	12,012,718	3,976,169	33.1%	2,921,865	616,257	21.1%
高速鉄道事業	収入	24,008,414	10,004,395	41.7%	13,616,752	3,236,317	23.8%
	支出	24,938,580	4,438,633	17.8%	20,648,004	5,773,059	28.0%
水道事業	収入	30,295,837	12,459,447	41.1%	10,846,160	160,691	1.5%
	支出	28,424,403	5,717,940	20.1%	27,968,752	5,748,910	20.6%
ガス事業	収入	48,349,697	20,048,234	41.5%	1,323,902	27,032	2.0%
	支出	44,949,746	14,826,399	33.0%	10,457,156	3,641,557	34.8%
病院事業	収入	20,282,289	9,277,264	45.7%	1,977,011	477,005	24.1%
	支出	22,213,087	8,074,936	36.4%	2,876,563	787,228	27.4%
合 計	収入	169,293,810	66,966,366	39.6%	59,869,525	10,364,692	17.3%
	支出	167,841,053	41,087,773	24.5%	107,031,479	28,103,474	26.3%

※執行率は、千円単位で計算した場合の割合としています。
※消費税込みの金額となっています。

(2) 市債、市有財産、基金などの状況

① 市債の状況

会計別市債現在高

(単位：千円)

	現在高	借入先				
		財務省	独立行政法人 郵便貯金簡易生命 保険管理・郵便局 ネットワーク支援機構	地方公共団体 金融機構	市場公募債	市中銀行等
一般会計	843,508,422	125,715,054	917,844	56,717,296	504,955,075	155,203,153
特別会計	26,461,241	614,529	3,431	3,537,145	15,765,725	6,540,411
都市改造事業	11,979,985	26,369	3,431	0	11,756,825	193,360
中央卸売市場事業	9,939,151	588,160	0	3,537,145	957,900	4,855,946
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	318,155	0	0	0	0	318,155
新墓園事業	4,223,950	0	0	0	3,051,000	1,172,950
企業会計	367,737,562	93,923,411	13,109,272	147,999,885	0	112,704,995
下水道事業	162,612,129	32,346,666	12,923,694	64,693,648	0	52,648,120
自動車運送事業	6,508,306	98,646	0	728,599	0	5,681,061
高速鉄道事業	111,236,172	9,265,462	185,578	57,142,215	0	44,642,918
水道事業	47,610,335	32,113,503	0	13,227,832	0	2,269,000
ガス事業	19,977,576	7,701,135	0	9,643,278	0	2,633,164
病院事業	19,793,044	12,397,999	0	2,564,313	0	4,830,732
合 計	1,237,707,225	220,252,994	14,030,547	208,254,326	520,720,800	274,448,559

※表示単位未満を端数調整しているため、差引や
合計が一致しない場合があります。

一般会計のうち目的別内訳

(単位：千円)

区 分	現在高	区 分	現在高
総 務 債	18,274,998	高 速 鉄 道 事 業 債	80,701,033
市 民 債	49,754,793	水 道 事 業 債	5,193,421
健 康 福 祉 債	30,283,296	災 害 復 旧 債	7,990,662
環 境 債	17,396,943	減 税 補 て ん 債	13,720,100
経 済 債	4,933,843	臨 時 税 収 補 て ん 債	263,000
土 木 債	232,402,240	臨 時 財 政 対 策 債	274,201,300
消 防 債	12,298,162	減 収 補 て ん 債	6,269,598
教 育 債	89,825,033	合 計	843,508,422

③ 市有財産、基金の状況

一般会計と特別会計の財産

	単位	行政財産※ ¹		普通財産※ ⁴	合 計
		公用財産※ ²	公共用財産※ ³		
土地	m ²	2,020,632	33,795,270	16,423,299	52,239,201
建物	m ²	373,632	3,177,326	78,562	3,629,520
山林（市有林）	m ²		3,326,535	17,718,661	21,045,196
立木	m ³		59,685	393,294	452,979
物権	m ²		44,112	2	44,114
動産	機		2	0	2
無体財産権	件		26	0	26
有価証券	千円			144,879	144,879
出資による権利	千円			8,350,095	8,350,095
物品	千円			23,648,286	23,648,286
債権	千円			13,525,621	13,525,621
基金※ ⁵	千円			266,022,984	266,022,984

注）土地のうち、行政財産の 3,326,535m² と普通財産の 12,712,360m² は山林（市有林）と重複しています。
また、立木は推定蓄積量です。

- ※¹ 行政財産 市が所有している財産で、行政目的に利用されているものや、利用されることが決定されたもので、公用財産と公共用財産に分けられます。
- ※² 公用財産 庁舎など、市が事務を行うために直接使用することを本来の目的とする財産です。
- ※³ 公共用財産 公園、学校など、市民の皆さんが利用することを本来の目的とする財産です。
- ※⁴ 普通財産 行政財産以外の財産です。直接特定の行政目的に使われるものではなく、一般私人と同等の立場で所有し、貸付などによる収益は市の財産収入となるものです。
- ※⁵ 基金 財政の健全な運営や特定の目的のため財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産です。本市の場合、18の基金を設置しています。

18の基金

財政調整基金、市債管理基金、高速鉄道建設基金、百年の杜づくり推進基金、環境保全基金、福祉基金、文化振興基金、仙台城史跡整備基金、震災復興基金、公共施設保全整備基金、中小企業活性化基金、市庁舎整備基金、奨学金返還支援基金、災害救助基金、職員退職手当基金、土地開発基金、国民健康保険事業財政調整基金、介護保険事業財政調整基金

企業会計の財産

(単位：千円)

	下水道事業	自動車 運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合 計
土地	20,537,716	2,718,197	14,027,394	8,813,864	8,654,840	9,170,830	63,922,842
土地面積(㎡)	2,116,239	125,644	239,907	2,586,738	283,286	35,018	5,386,833
建物	27,546,800	1,567,015	34,498,101	5,988,459	2,232,152	11,423,623	83,256,150
建物面積(㎡)	127,966	15,467	242,745	71,146	37,801	55,800	550,925
構築物	471,973,082	190,122	174,662,190	150,548,129	26,495,811	105,922	823,975,254
未竣工施設建設仮勘定	21,710,164	122,155	1,364,512	5,750,798	662,605	0	29,610,235
車両運搬具	21,925	1,489,274	3,683,855	38,014	34,255	2,345	5,269,668
機械及び装置	47,940,083	23,309	5,225,020	12,648,399	4,678,968	0	70,515,779
器具工具備品	97,239	1,515,543	119,234	511,276	56,916	2,799,639	5,099,848
リース資産	0	0	0	203,120	248,466	0	451,586
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0
出資による権利	27,000	28,161	93,265	1,069,500	141,897	0	1,359,824
無形固定資産	3,260,019	7,121	7,791	4,687,246	596,728	408,687	8,967,591
合計 (千円)	593,114,028	7,660,897	233,681,362	190,258,805	43,802,638	23,911,047	1,092,428,777

※ 財産のうち、建物、構築物、車両運搬具、機械及び装置、器具工具備品、無形固定資産については、減価償却後の金額

※ 表示単位未満を端数調整しているため、差引や合計が一致しない場合があります。

③ 一時借入金状況

令和7年9月30日現在の一時借入金残高はありません。

※ 一時借入金は、支払い資金の不足を臨時的に補うために、
その年度内で償還する条件で借り入れる

[寄附のお願い] 仙台ふるさと応援寄附

仙台市では、皆様からいただいたご寄附を、新たなまちづくりに活用させていただいております。
仙台にお住まいの方も、市外にお住まいの方も、寄附を通して仙台を応援いただければ幸いです。



寄附金の使いみち

寄附お申し込みの際、寄附金の使いみちをお選びいただけます。寄附メニューは「震災の経験や教訓の継承・発信」、「子育て支援」、「動物愛護の推進」、「仙台まるごと応援」など、全 29 項目をご用意しております。
※ご指定がない場合は「仙台まるごと応援」に活用させていただきます。

寄附された方と寄附金活用状況のご紹介

公表について承諾をいただいた方のお名前や、寄附金の活用状況などを仙台市ホームページで紹介しております。

寄附のお申し込み

各種ふるさと納税ポータルサイトからお申し込みいただけます。
申請書による場合は以下のいずれかの方法により、財政局財政企画課までお申し込みください。寄附申込書は仙台市ホームページから取得いただくか、財政局財政企画課までお問合せください。

○ファックス：022-262-6709

○郵送：〒980-8671 仙台市役所 財政企画課 ※住所の記入は不要です

○電子メール：zai003005@city.sendai.jp

問合せ先

- 仙台市への寄附に関すること：財政局財政企画課 電話：022-214-8111
- 税の控除に関すること：お住まいの市区町村の税務担当課にお問い合わせください。
(仙台市にお住まいの方：財政局市民税課 電話：022-214-8637、8638)

税制面の優遇

○ 事業者の方

申告により、寄附金の全額が法人税の損金扱いとなります。

○ 個人の方

寄附（ふるさと納税）について確定申告をしていただくと住民税と所得税から寄附金の 2,000 円を超える部分が一定限度控除されます。一定の給与所得者等（寄附金の控除以外に申告すべき事項が無い方）は、ワンストップ特例申請により、税の申告を行わなくても寄附金の控除を受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」をご利用いただけます。

※税の申告をする方、ふるさと納税先が 5 団体を超過する場合はこの制度の対象とはなりません。



詳細はホームページをご覧ください

仙台ふるさと応援寄附

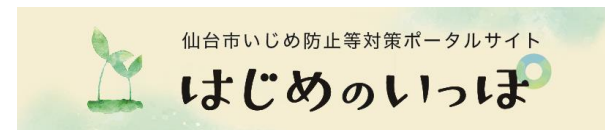
検索



[いじめ等相談窓口のお知らせ]

お子さんがいじめにあっているかもしれないと思われるときは、悩みを抱え込まず、早めに学校にご相談ください。また、学校に相談しにくい場合などは、学校外の窓口にご相談ください。

教育委員会の 窓口	仙台市教育相談室	電話：022-214-0002	平日 9 時～17 時
	24 時間いじめ相談専用電話	電話：0120-81-2455	24 時間 365 日
	いじめ相談受付メール	メールアドレス：soudan@city.sendai.jp	
こども若者局の 窓口	仙台市いじめ等相談支援室 S-KET(エスケット)	電話：0120-303-836	月・水・木・土 10 時～17 時
		メールアドレス：	火・金 12 時～19 時
		s-ket@city.sendai.jp	※祝休日、年末年始を除く



<https://sendai-ijimetaisaku.jp/>



仙台市 はじめのいっぽ

検索

[宝くじ購入のお願い]

宝くじは、**仙台市内**でお買い求めください!!

仙台市内で販売された宝くじの売上の一部は、仙台市の収入となっており、
高齢化・少子化対策のための事業や環境保全事業などの貴重な財源として活用しています。
宝くじは夢を持つことができるとともに、
市民の皆様のよりよい生活のために大変役立つものなのです。

宝くじの情報は、仙台市ホームページからもご覧いただけます！

仙台市 宝くじ情報

検索



宝くじのイメージキャラクター
「クーちゃん」